

# バリアフリー教室とは



バリアフリー教室とは、高齢者や障がい者の方がバスや電車などの公共交通機関を利用する時や、駅や市役所などの公共施設を利用する時に、スムーズに移動するのを、国民の誰でもが自然にサポートできるようになることを目指して、国土交通省が開催する体験教室です。

## 【教室Q&A】

Qどんなことをするの？ →高齢者・障がい当事者の疑似体験や介助体験です。メニューは高齢者、車いす、視覚・聴覚・知的障がいなどさまざまです。

Qどんなメリットがあるの？ →障がい当事者の方や、施設で働いている方などのお話を聞いたり、実際に「体験」することで不便なところが実感でき、学校での学習活動や仕事に役立てることが出来ます。

Qどんな人が受けるの？ →児童や学生・社会人です。（社会人は交通事業者や観光事業者等の他に自治体イベント等の場で来場者に対して行うこともあります。）

Qどれくらいの時間がかかるの？ →基本1日。時間は1～3時間。内容に応じ変わります。

## （参考：実施の様子（運輸局・整備局職員・交通事業者向け））



## （参考：実施の様子（児童・学生・イベント来場者向け））



# 公共交通教室とは

公共交通教室とは、主に児童（幼稚園児や小学生）や保護者を対象として、バスや電車などの公共交通機関の乗り方や車内でのマナー・交通安全について体験を通して学ぶもので、バリアフリー教室と同じく国土交通省が開催しています。

## 【教室Q&A】

Qどんなことをするの？ →乗り方：（行き先表示・時刻表、運賃の払い方（現金・ICカード））  
車内マナー：（走らない、騒がない、携帯禁止、優先席表示など）  
交通安全：（車内事故防止、降りてからの事故防止（死角）など）

Qどんなメリットがあるの？ →車内マナーを学ぶことで社会性が身につきます。また交通安全や乗り方を学ぶことで、一人でも安全に外出する方法が身につきます。

Qどんな人が受けるの？ →児童については幼稚園や小学校などで実施。  
保護者の方については自治体イベント等の場などでお子様と一緒に学んでいただく場合があります）

Qどれくらいの時間がかかるの？ →1回30分～1時間程度。内容に応じ変わります。

## （参考：実施の様子（学校などでの実施））



## （参考：実施の様子（自治体イベントなどでの実施））

